

経営比較分析表（平成30年度決算）

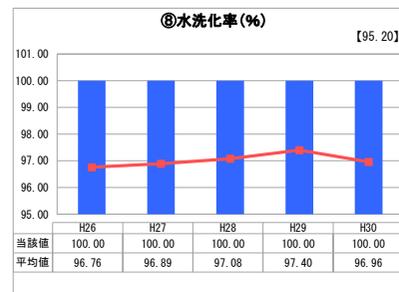
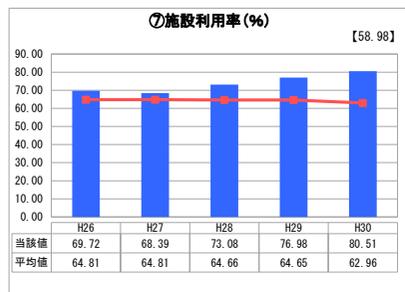
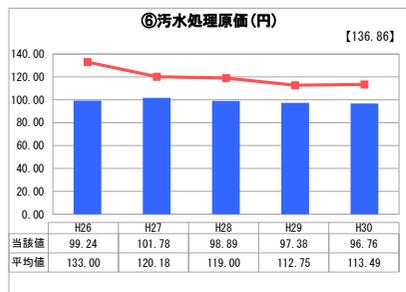
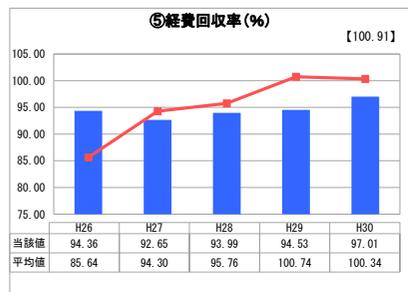
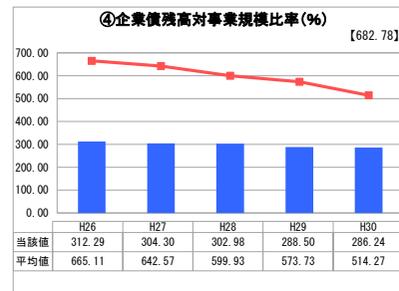
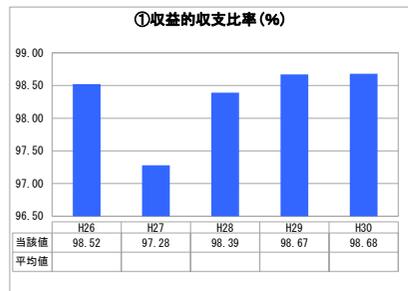
東京都 三鷹市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	100.00	83.09	1,235

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
187,199	16.42	11,400.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
187,571	16.50	11,367.94

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、平成25年度までは有収水量が減少傾向であったこと、下水道使用料の単価が多摩地区26市と比較して低いことなどから90%台前半となっていました。平成26年4月の下水道使用料改定により、平成26年度以降は97~98%台と改善傾向にあります。

④企業債残高対事業規模比率は、平均値に比べて低い水準にあります。これは公共下水道整備を全国に先駆けて取り組み、一定程度の償還が完了していることによります。

⑤経費回収率は、平成25年度までは下水道使用料の単価が多摩地区26市と比較して低いことなどから80%台となっていました。平成26年4月の下水道使用料改定により、平成26年度は94.36%と大きく改善し、平成30年度も97.01%と改善傾向にあります。

⑥汚水処理原価は、平均値に比べて低い水準にあります。

⑦施設利用率は、平均値に比べて高い水準で推移しており、効率的かつ安定的に利用されています。

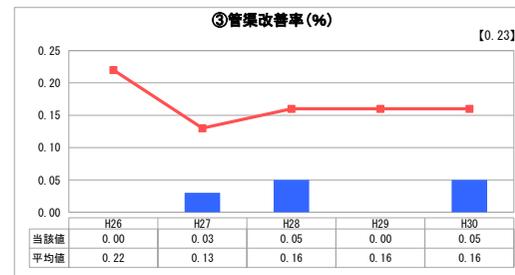
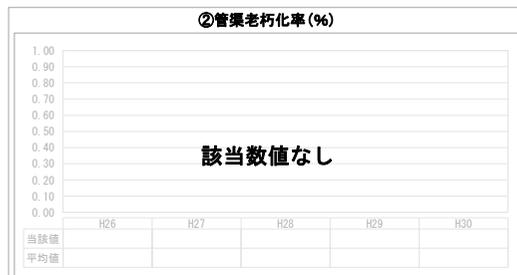
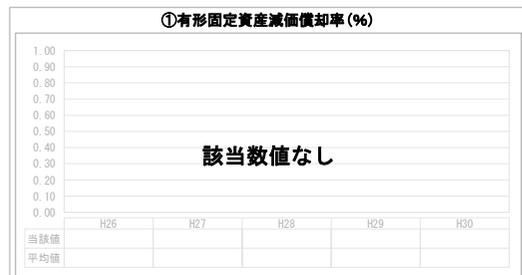
⑧水洗化率は、全国に先駆けて取り組んでおり、100.00%となっています。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、現在は平均値より低い水準で推移しています。本市では、管渠・処理場など下水道施設の多くが、昭和30年代から40年代にかけて建設されており、これから順次更新時期を迎えることとなります。限られた財源の中で、老朽化していく施設の適正な維持管理や更新を行うため、施設の長寿命化対策事業を計画的に行います。

・処理場（東部水再生センター）については、上位計画である「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画」に流域編入が位置付けられていることから、流域編入を想定した計画としています。

2. 老朽化の状況



全体総括

・本市では、下水道事業の総合的・計画的な事業展開と財政運営の見直しを明らかにした「三鷹市下水道経営計画2022」（令和2年3月改定予定）を経営戦略に位置付け、本計画に基づいて、健全な下水道経営のもと、安定した下水道サービスを引き続き提供することに取り組んでいます。

・下水道施設の老朽化による更新が順次必要となってくることから、今後大きな財政負担が想定されます。そのため、効率的かつ効果的な事業運営に努めるとともに、優先度をつけた計画的な事業展開を図ります。

・令和2年4月1日より地方公営企業法の適用を一部適用し、経営の健全性や計画性・透明性の向上を図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。